

分野	今の課題・問題	分野別の将来像	将来像実現のために必要な取り組み		
			既存の取り組み	もりこみトークで出された意見（一部抜粋）	
交流	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人と高齢者の交流の場が少ない ○地域・自治会と子ども達との関係の希薄化 ○転入者が町に溶け込めるような機会がない ○地域の情報発信が足りない ○学生と地域との交流がない ○スポーツや文化活動ができる場所がない ○地域との交流が少なくなっている ○頼れる大人とつながりがない ○20～30代との交流が少ない ○掲示板は若者は見ない ○自治会に入っていれば、回覧板等で情報収集できる ○学生と高齢者のふれあいが少ない ○学生のみでの交流だけ。怖さもある ○仕事をしていると、平日昼間の行事には参加できない ○活動する若い人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもからお年寄りまで世代間交流ができる町 ■お年寄りも若者も歩みよる、ふれあうことのできるまち！ ■文化とスポーツの融合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほたる祭り ・もちつき ・新年書き初め大会 ・お月見会 ・芋ほり ・くんち(みこし守り) ・精霊流し ・ふれセンまつり ・自治会単位の運動会 ・金比羅公園ハタ揚げ 	<ul style="list-style-type: none"> ○学生がもっと身近に自治会にふれあえるように自治会活動を大学で行う ○楽しいことをしながら人を巻き込み、顔の見える関係をつくる ○子どもたち、職員、高齢者、学童、自治会など地域全体でお祭りをする ○子ども達と地域の住民と連携をもっと図るために、交流する計画(イベント等)を立てる ○イベントをするときに「参加してもらう」だけでなく「一緒に企画する」 ○LINE等のSNSを活用し、若者と連携し協力を呼びかける ○学生の自治会費を無料にし、活動に参加してもらう ○学生のリーダーを活動に参加できるようラインを使って呼びかける ○自治会サークルをつくって自治会役員に継続的に若い学生に入ってもらう。 ○大学の授業で自治会活動・地域コミュニティを勉強する時間をとる ○自治会の活動を小・中学校に知らせ、スタッフとして参加してもらう ○コロナ禍の地域交流(イベント)を再開し、既存の取組に学生を巻き込む ○学校と自治会で交流を持ち、若者に地域での取り組みに参加してもらい、自治会の重要性を知ってもらう ○地域で情報交換・共有する「もりこみトーク」のような場を定期的に開催 ○クリエイターの力を借りて回覧板をもっと楽しく見れる工夫をする ○この場所に来れば、集まれる、話せる、交流、休憩ができる、トイレもある、パツと行ける場所をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○学生との交流 ○クラウドファンディングの活用 ○庭先まわりを交流の場 ○マルシェ ○体育祭、文化祭 ○思いきりスポーツできる場所をつくる ○ふれあい農園 ○経済祭にコミュニティ協議会で参加する ○元気な高齢者の人材バンク ○イノシシカレーをつくる ○大学にも情報提供をする ○高齢者向けの情報を学校に伝える ○学生さんの人材バンク(世代間交流) ○スポーツで地域交流 ○学生に自治会活動に参加してもらう
歴史・伝統	<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代に歴史伝統そのもの、また情報が伝わっていない ○広報情報が多すぎて伝わらない ○興味を持つ機会が少ない ○精霊船(もやい船)をつくる場所がなくなっている ○身近にありすぎて深く知らない ○地域のことをあまり知らない 	<ul style="list-style-type: none"> ■若い人を巻き込んで、世代を超えて地域を知ろう！ ■歴史や伝統に子どもも参加し県外や海外の人にもふれあえるようなまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・くんち庭先まわり ・鬼火たき ・松森神社のお祭り ・精霊船(もやい船) ・みこし守り ・城の古址(長崎甚左衛門) 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史を知っている方が語っていく機会を増やす ○くんちなどをアニメやマンガにし、描いたものを周りの人に広める ○おくんちの歴史を学んだ上で、学校での神輿かつぎ等経験を地域で広げる ○SNS等を活用して年代に応じた整理された情報発信 ○歴史を学ぶまち歩き(マップラリー)を活用 ○上長崎の「レキジョ」「レキダン」を作って発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の歴史を様々な世代で学ぶ機会をつくる ○さるくを行い自分達のまちを知ってもらう ○情報発信を行える人材の確保 ○地域の神社巡り ○ウォークラリーを復活させる！
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ○子どものあそびの変化 ○親が遊びを知らない(遊ばせ方を知らない) ○小学校に飼育小屋があっても動物がない ○あそぶ機会・環境があれば、子どもは自由に遊べるのでは？ ○先生も子どもとふれあいたいが忙しくて時間が取れない ○体や頭を使う遊びが少ない ○学校の校庭が放課後に使えない ○ボール遊びできる場が少ない ○子どもの遊び場が少ない(公園はあっても制限がある) ○ゲームもするけどスポーツも楽しい ○遊び場での事故などの心配… ○あそぶ場所がない・知らない 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもたちが楽しく遊べる・交流できる ■小中学校色んな団体が協力してイベントをする ■遊べる「マップ」で工夫してあそぼう上長崎 ■誰もがあいさつをするまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほたる祭り ・もちつき ・新成人祝い ・就学祝い 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びを伝えていく(手作りおもちゃの作り方を教えてあげる機会をつくる) ○いろんな世代で交流(ボードゲーム、竹とんぼ、竹馬づくり) ○地区のあそび場を見てまわる・知る・発信する・発見する(ロコモもOK) ○大人と子どもと一緒に考える場をつくる ○川に危険なものがないか調べる ○地域のいろんな人たちの知恵や力を借りて、いろんな遊びを教える ○小・中学校の放課後のグラウンドの開放 	<ul style="list-style-type: none"> ○事故を防ぐ ○地域との交流をよく理解する ○地域ぐるみであいさつをする ○マップ、おまつり、スケジュールづくり 
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○夜とか階段が狭く、歩きにくい ○片中までの長い階段、街灯なし(部活帰りが心配) ○片淵中の階段が急で危ない ○山手は階段が多く空き家が多い(つれこまれたらどうする…?) ○塀や空き家が斜めで崩れそうなところ ○危険な家の所有者と連絡がとれない(木が大きくなりすぎて通学路にはみ出してる) ○川の増水が心配 ○手すりがないところ ○学校行くととき車が危ない(信号がないところがある) ○一人暮らしが多く避難の声かけどうするか ○避難所が少ない(今の高齢者はホテルに行く) 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域で仲良くする ■安全な道の整備(通学路の幅を広くする) ■安全安心なまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・100人パトロール ・定例パトロール ・年末夜警 ・階段の白線 ・安全安心カード(全自治会加入家庭に配布、笛の配布) 	<ul style="list-style-type: none"> ○西山交番の防犯情報を回覧板で回す ○光るものや防犯ブザーを身につける(自治会での提供) ○警察との連携を強くする ○塀、壁に網をかける ○AEDの場所を知る ○ゾーン30を表示 ○公共施設だけでなく民間施設を避難所として利用できるよう民間にも協力を求める ○ハザードマップを作って事前に状況が分かるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ○パトロール ○反射材の配布 ○草刈と除草 
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ○道が狭くて車が通れない(救急車、消防車) ○遊び場が少なく、犬のフンやごみ(ポイ捨て)が多い。カラスがくる。 ○イノシシが多い ○野良猫が多い ○ゴミの集積所までもっていけない(高齢化) ○お店が減ってきた(高齢化で) ○空き家の場所や持ち主が分からない ○空き家の樹木や雑草が育ちすぎ ○空き家が増えてきた 	<ul style="list-style-type: none"> ■空き家・空き地が整備活用できていて防災につなげられるまち ■遊び場があつてごみやふんがないきれいなまち ■活気・交流のあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム草刈り ・安心カード ・通学路のごみ拾い ・地域清掃活動 ・イノシシ除けのワイヤーなど 	<ul style="list-style-type: none"> ○坂でも便利になるようにドローンで荷物を運ぶ ○坂の途中に休けい用イスを置く ○若者と連携しそれぞれの得意分野を活かして、情報発信をして協力を呼びかける(SNS、ホームページ) ○そうじをする ○ゴミ出しのお手伝いをする(高齢者) ○子どもからお年寄りまで集まって活動できるような場所を作る ○空き家をリノベして、お店を作って人口減少を止める ○若い人が住みやすいようリノベーションをする ○地域でのボランティア清掃などコミュニティの場を増やして友達を作る(行事へ誘いやすい) 	
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報のため、一人暮らしが不明 ○急に倒れた時の不安 ○高齢者が地域に顔を出すことが難しくなっている(制約が多い) ○階段や坂道が多く移動が難しい ○グランドゴルフなどができる場所がない(あっても坂の上で行きにくい) 	<ul style="list-style-type: none"> ■再開発 ■地域での見守りのシステムづくり ■世代間の交流がさかんに行える →人が集まりやすく将来性がある ■運動が楽しくでき健康な高齢者がたくさんいるまち ■高齢者も子どももみんな顔見知り笑顔あふれるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン ・ふれあいカフェ ・長寿を祝う会 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報の収集、取り扱いの確認 ○体をきたえるため階段などを利用 ○学校などのグラウンド等を活用し、高齢者が運動できる場を確保 ○自治会内の交流を活発にするため、自治会などの負担を減らし参加しやすくする 	